

皆様、こんにちは（こんばんは）。

2025年（令和7年）も3月になりました。本当に早いものです。皆様、暑くなってまいりましたが、お疲れが出ませんように。やや遅くなりましたが、2月の総領事（館）の業務報告をいたしますと共に、今後の見通しをお話いたします。公開可能な総領事（館）の活動は、引き続き順次、総領事館HP・FB及び私のX（旧ツイッター）に掲載しておりますので、是非、ご笑覧ください。

全体として、私としては、着任（11月30日）から3ヶ月が経ち、今後の活動の優先目標が改めて明らかになってきたと思っております。

まず、私共の仕事の「一丁目一番地」は、ペナン総領事館の管轄地域内に様々な理由で居住されている日本人の皆様及び日本企業の皆様が安心・安全に、かつ、有意義に誇りを持って日々をお過ごしになることを微力ながら、全力をもって支援することです。具体的には、各種の領事業務と邦人援護業務があります。総領事館管轄地域には3000人を優に超える日本人の皆様が居住されており、その皆様の権利義務関係に大きく影響する証明業務は大変大切です。また、ペナンを含む管轄地域は基本的には安全ではありますが、自然災害や事故はいつどのように発生するか予測が困難なところもありますので、その場合の対応の仕方を不断に考えていかねばなりません。領事業務の改善については皆様のご意見が死活的に重要です。今後とも、忌憚のないご意見を賜ればと存じます。

日本企業の活動支援も重要な業務と考えています。1969年のマラヤワタ設立、1970年代のいわゆる「8人のサムライ」の当地での操業開始、その後の我が国企業の大規模な直接投資は、ペナンをマレーシアで有数の産業地帯にする要因になりました。また、マレーシア側でも第一次マハティール政権時代に開始された「東方政策」によって、多数のマレーシア人が日本で学びました。日本とマレーシア／ペナン総領事館管轄地域との繋がりはいまだに強固です。私共といたしましては、このような強固な繋がりを踏まえつつも、日本企業の皆様が当地でビジネスを行うに当たっての障害があれば、各州政府関係者と意見交換する中でそれらを取り上げ、解決に向けた道筋を付けるために微力なりとも全力を尽くしていきたいと考えています。

その関連で、最近、ペナンにおいてペナン州の水資源管理について産官学のワークショップ（2月16日から22日）が開催されました。これは、JICA草の根無償プロジェクトの一つであり、川崎市、民間コンサルタント企業、水道関係企業、京都大学が来訪してペナンのカウンターパートと共に、下水処理や漏水問題について議論し、本年中にペナン州政府に提言を出すものです。ペナンにおいては、交通渋滞問題など、地元の人々及び邦人・日本企業の皆様が苦勞をしているインフラ関連の問題があります。私の理想といたしますところは、このような問題の解決に、我が国官民がその経験・技術をもって貢献し、その過程で日本企業の新たな参入を得ることでありま

す。今後、JICAを含めた関係の皆様と意見交換などを深めていきたいと思っております。

当地において、日本・日本人が存在感を示し、また、生きやすい環境を作るには、学術交流・文化交流の促進も重要だと考えております。2月8日には、当地において長年に亘って最終学年の学生さんの日本・マレーシア企業などへのインターンなどを手掛けてこられた豊橋技術科学大学（TUT）の皆様などを公邸に招き、今後の活動などについて意見交換をいたしました。また、2月28日にはやはり公邸に当地日本友好団体関係者、日本マレーシア協会関係者、TUT・信州大学関係者、ペナン・イポーの日本人会関係者等を招いて、日本・マレーシア間の更なる文化交流活動振興に向けての意見交換を実施しました。今後も、様々な形でネットワーキングのお手伝いをしていきたいと思っております。6月21日にはよさこいパレード、7月19日には盆踊りが挙行されますが、このようなイベントに限らず、日本文化紹介・文化交流をどんどん促進していきたいと考えております。

2月21日には、E&Oホテルにおいて、ジャグディープ・シン第二副主席大臣を含む約200名のお客様を迎えて、天皇誕生日レセプションを開催いたしました。、日本及び世界の安寧をお祈りになる天皇陛下のお気持ちに思いを馳せつつ、私から、ペナンを含むマレーシアの方々が日本人を長きにわたって当地社会の一部として受け入れてくれたことに感謝を述べつつ、日本とマレーシアの間をより良くつなぐという私共の目標をあらためて強調しました。今後とも、天皇誕生日レセプションに、日本／総領事館の良き友人達をお招きし、広範な親善のネットワークを広げていきたいと存じます。

3月はラマダンの時期であります。この間にもできることはできる限りこなしていきます。なかんずく3月10日には、チョウ・コン・ヨウ首席大臣に対して初めて公式に表敬をし、2月16日から22日までの訪日を踏まえて、今後、日本とペナンの関係をどのように更に充実させていくかについて親しく意見交換ができればと存じます。また、3月16日には当地政権与党であるDAPの中央委員会選挙が行われます。ペナンの今後に影響がある重要な政治イベントに注目していきたいと思っております。

3月は節目の月であります。皆様の令和7年度が幸多いものとなることを心からお祈り申し上げます。